



【BV+XELOX 療法について】 (ペバシズマブ+オキサリプラチン+カペシタビン)



😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
パロノセトロン注(アロキシ)	吐き気止めです	15分																					
デキサメタゾン注(デキサート)																							
ペバシズマブ注(アバステン)	抗がん剤です	90分																					
オキサリプラチン注	抗がん剤です	2時間																					
生理食塩液		15分																					
カペシタビン錠	抗がん剤です	朝・夕 内服																					

2回目から点滴時間が短くなる場合があります。

😊 治療による副作用

: 注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
自覚症状	過敏症																					
	食欲不振・吐き気																					
	手足のしびれ																					
	口内炎																					
	下痢																					
	手足症候群																					
	色素沈着																					
	脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																					
検査値	白血球減少																					
	赤血球減少(貧血)																					
	血小板減少																					
	肝障害																					

以下の副作用は、起こりやすい時期はわかっていますが、早めの対応が必要な副作用です。気づいたことがあればお知らせください。

- 血圧上昇 ● 出血(鼻血など) ● タンパク尿 ● 胃腸穿孔(下痢や腹痛が続く、激しい腹痛など) ● 傷の治りが遅い
- 血栓・塞栓(足が腫れたり痛む、息苦しい、胸痛、片側のまひ、言葉がうまく出ない、気分が悪い、めまいなど)



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。

実際の投与スケジュールと異なる場合があります。本資料は参考としてお使い下さい。

名古屋市立西部医療センター薬剤科(代表)052-991-8121